

北海道150年 音楽祭

「北海道150年」のエンディングを
盛り上げる、北海道ゆかりの
アーティストを出演順にご紹介します。

artists line up

札幌市立琴似中学校合唱部



2010年に全日本合唱コンクールの北海道支部大会において金賞・1位通過で全国大会に出場し金賞。2013年には札幌ヴォーカルアンサンブルコンテストにおいて、女声合唱で金賞を受賞。第80回NHK全国学校音楽コンクールにおいて北海道ブロック大会金賞で全国大会に出場、優良賞。また、全日本合唱コンクール北海道支部大会において金賞、全国大会で銀賞を受賞。2016年には同全道大会で金賞、全国大会で銀賞。2018年度第71回全日本合唱コンクール全国大会女声合唱の部 金賞、混声合唱の部 銀賞。

北海道150年バンド



北海道命名150年を盛り上げるため、道内で活躍中の「佐藤広大」[LOVERSSOUL]に加え、ナカムラ ジュンキ、奥山 大地、三浦 剛志の5名で結成されたバンド。2017年8月27日に放送された札幌テレビ放送(STV)「24時間テレビ」で“北海道らしい曲40曲”をカバーライブ。音楽を通して「命名150年」を盛り上げてきた。

児玉梨奈 (Rina Kodama)



旭川在住のシンガーソングライター。
これまでに全8作のCDをリリース。YouTubeにて映像作品【うさぎ】【児玉梨奈&北海道150年】【「花時」プロモーショントラック】を公開中。2017年公開の映画「生きとし生けるもの」にオリジナル曲「ISLAND」が起用されている。
2018年北海道命名150年の年に北海道観光大使に就任。
北海道命名150年PR動画の楽曲「北海道150年」ではギターとボーカルを担当。

Chima



札幌市在住のシンガーソングライター。
北海道が大好きで大学進学を機に移り住み音楽活動をスタート。透明感のある声と心地よい空間に吸い込まれる様な唄で聴く人を魅了。高校の修学旅行で訪れた北海道の空に感動し、ここに住もうと大阪から移住、北海道の大学に進学、札幌の音楽シーンに感化され、自らも音楽の道を目指す。現在は、小さな体にギターを背負い全国各地を巡ってライブ活動を行っている。

伊藤花りん (Karin Ito)



幼少期からのバレエの経験を生かした楽曲に合わせたライブパフォーマンスを得意とし各地で公演を行っている。林原めぐみ・ディズニーオンクラシックなど様々なアーティストとライブでのコラボを展開。また、秋篠宮文仁親王同妃両殿下の前でサンドアートパフォーマンスを披露している。映像分野では東方神起などのアーティストのMVを制作。近年では道尾秀介著「風神の手」装丁画を始め、雑誌や絵本への挿絵などのイラストも手がけている。

▼Ave Maria



▼Official Site



▼Official Site



▼Official Site



▼Official Site



OKI



アサンカラ(旭川)アイヌの血を引く、カラフト・アイヌの伝統弦楽器「トンコリ」の奏者。アイヌの伝統を軸足に斬新なサウンド作りで独自の音楽スタイルを切り拓き、知られざるアイヌ音楽の魅力を国内外に知らしめてきたミュージシャン/プロデューサー。電気ベースやドラムを取り入れたアルバム「OKI DUB AINU BAND」を発表し、ヨーロッパ他国内外でのフェスティバルに出演。
2008年度北海道文化賞奨励賞受賞。

▼Official Site

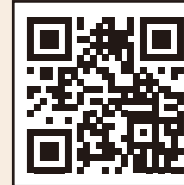


瀬川あやか (Ayaka Segawa)



午前中は都内の病院で看護師として勤務し、午後はアーティストとして活動をする異色の“二刀流”女性シンガーソングライター。大学時代にミスキャンパスコンテストで準グランプリを獲得したキュートなルックスと、女性から共感を呼ぶ歌詞や類稀なメロディセンス、天性の明るさと伸びやかな優しい歌声を兼ね備え、2016年6月にメジャーデビュー。今までリリースしたシングル4枚、アルバム2枚の収録曲全曲にタイアップが決定し、多くのメディアで取り上げられている。

▼Official Site



MACO



函館市出身。2014年のメジャーデビュー以降、共感を呼ぶ楽曲で10代～20代の男女に絶大な人気を誇るシンガーソングライター。SNSを中心に話題を集めYouTubeの総再生回数は日本人アーティスト最速で1億回を超え、YouTubeの「好きなことで、生きていく」キャンペーンに出演。デビュー5年目の2018年には初のベストアルバム「BEST LOVE MACO」、4thオリジナル・アルバム「交換日記」を12月5日にリリース。来年3月からの全国ツアー「交換日記+BEST LOVE MACO TOUR 2019」に先駆けて台湾、上海公演、4月28日わくわくホリデーホールでのライブも決定している。

▼Official Site



TRIPLANE



札幌市出身。小学校の同級生である江畑兵衛 (Vo&Gt)、武田和也 (Ba)、広田 周(Dr)によって結成。後に川村健司 (Gt)が参加。大好きな音楽で仲間と共に大空を羽ばたきたいとの想いから「TRIPLANE(三翼機)」と名付ける。アニメ「ONE PIECE」ED曲「Dear friends」や北海道日本ハムファイターズ「10th Season プロジェクト」テーマ曲「ファイターズと共に」など数々の楽曲が起用されている。2019年1月30日8thオリジナル・アルバム「THETA-never ending fantasy-」リリース。4月27日札幌サンプラザホールでワンマンライブも開催。

▼Official Site



野宮真貴 (Maki Nomiya)



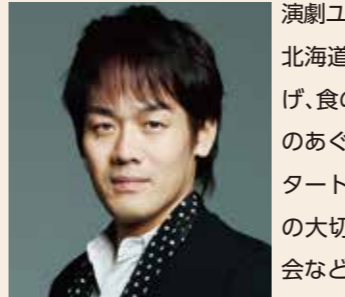
音別町(現釧路市)出身。「ピチカート・ファイヴ」3代目ヴォーカリストとして「渋谷系」ムーブメントを国内外で巻き起こし、音楽・ファッションアイコンとなる。デビュー37周年を迎え、音楽活動だけでなくファッションやヘルス&ビューティーのプロデューサー、エッセイストなど多方面で活躍中。2013年より「野宮真貴、渋谷系を歌う。」という活動を開始、5作のアルバムから選りすぐり、究極のベスト盤「野宮真貴 渋谷系ソングブック」をニューリリース。エッセイ「赤い口紅があればいい」「おしゃれはほどほどいい」、新刊・電子書籍「おしゃれかるた」が好評発売中。

▼Official Site



MC

森崎博之 (TEAM NACS)



演劇ユニット「TEAM NACS」リーダー。北海道の食をあらゆる角度から取り上げ、食のあり方を見直す番組「森崎博之のめぐり王国北海道」を2008年よりスタート。ごはんソムリエを取得し、食育の大切さ、北海道の素晴らしさを講演会などでも発信している。

北川 久仁子



AIR-Gで毎週金曜日放送している、10時間の生ワイド番組「brilliant days×F」メインパーソナリティー。柔軟なトーク力を活かし、式典からエンターテインメント性の強いイベントまでマルチにこなす。育児をしながら、TV、講演会などに出演。ナレーターとしても活動している。